



DANDELION
SMALL-BATCH
CHOCOLATE

2026年 7月 31日

東京地下鉄株式会社

ダンデライオン・チョコレート・ジャパン株式会社

有楽町線新駅(仮称)千石駅周辺をより豊かな“まち”に

東京メトロ、ダンデライオン・チョコレートと資本業務提携 (仮称)千石駅開業を見据え、地域と共に魅力あるまちづくりを推進

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:小坂 彰洋、以下「東京メトロ」)とクラフトチョコレートを製造・販売するダンデライオン・チョコレート・ジャパン株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役:堀淵 清治、以下「ダンデライオン・チョコレート」)は、両社で有楽町線延伸部の新駅となる(仮称)千石駅周辺エリアのにぎわい創出と魅力向上を推進していくことに合意し、その連携を推進していくため、東京メトロからダンデライオン・チョコレートへ1億円を出資、ダンデライオン・チョコレートは千石エリアにファクトリー&カフェを今秋出店いたします。

・出資について

このたび、東京メトロは、2030年代半ばに有楽町線延伸により新駅が開業する千石エリアのにぎわい創出と魅力向上を推進するため、ダンデライオン・チョコレートへの出資を実行しました。東京メトロは、同社が蔵前エリアで培ってきた地域のブランディングやコミュニティ形成のノウハウに加え、当社のまちづくりに関するノウハウも活用しながら、来街者や地域住民が集い交流する新たな拠点の創出を目指して協業を進めてまいります。具体的には、2026年4月に公表された「(仮称)千石駅周辺地区まちづくり方針」に基づき、美術館通りを中心とした沿道エリアにおいてにぎわいを創出し、エリア価値の向上に取り組んでいくことを検討しています。

・ダンデライオン・チョコレートについて

ダンデライオン・チョコレートは、米国サンフランシスコ発の Bean to Bar^{※1} チョコレートブランドです。「クラフト^{※2}を文化として根付かせる」をビジョンに掲げ、チョコレートづくりの工程やものづくりの背景を来訪者に伝える店舗づくりを通じて、地域に新たな価値を創出しています。2016年には蔵前へ日本1号店となるファクトリー&カフェを開業しました。

開業後、蔵前エリアではクラフト系店舗の集積が進み、リノベーションされた工場や倉庫跡地への出店が相次ぐなど、まちの魅力向上に大きな役割を果たしてきました。また同社は、地域住民やクリエイターとの交流を通じて多様なコミュニティを育み、持続的なエリア活性化に取り組んでいます。

※1 Bean to Bar: カカオ豆からチョコレートバーをつくるまでの工程を一貫して行うこと

※2 クラフト: 素材やつくり手の個性を大切に、丁寧なものづくりを通して、その背景やストーリーまで楽しむこと

今後は、(仮称)千石駅の開業に向けて、両社での連携を深めるとともに、地域の皆様と連携しながら、にぎわいと魅力にあふれるまちづくりを推進してまいります。



1. ダンデライオン・チョコレート概要

サンフランシスコ発の Bean to Bar チョコレート専門店。シングルオリジンのカカオ豆とオーガニックのきび糖のみを使用し、すべての製造工程を自社ファクトリーで行っています。2016 年 2 月に東京・蔵前に日本 1 号店を開き、日本への進出を果たしました。三重・伊勢、東京・吉祥寺にも店舗を展開しています。(2026 年 7 月現在)

社名: ダンデライオン・チョコレート・ジャパン株式会社

所在地: 東京都台東区蔵前 4-14-6

代表者: 堀淵 清治

創業: 2015 年 5 月

URL: <https://dandelionchocolate.jp/>

お問い合わせ先: <https://dandelionchocolate.jp/pages/contact-info>



※DCJ: ダンデライオン・チョコレート・ジャパン

【図1】(仮称)千石駅とダンデライオン・チョコレート新ファクトリー & カフェ位置図

2. 両社長コメント



◎東京地下鉄株式会社 代表取締役社長 小坂彰洋 コメント

東京メトロでは、有楽町線延伸により新たに開業する(仮称)千石駅周辺において、地域の魅力向上とにぎわい創出につながるまちづくりを進めています。

ダンデライオン・チョコレートは、蔵前に出店されてから約 10 年にわたり、クラフトやものづくりを軸に多くの人々を惹きつけ、地域の新たな魅力や活気を生み出してきました。

今回の出資と新拠点の開業を契機に、蔵前で育まれた文化や交流が千石にも広がり、新たな人の流れやコミュニティが生まれることを期待しています。今後もダンデライオン・チョコレートとの連携を通じて、魅力あるまちづくりを推進してまいります。



◎ダンデライオン・チョコレート・ジャパン株式会社 代表取締役 堀淵清治 コメント

「私は 2015 年、清澄白河にブルーボトルコーヒーの日本 1 号店を立ち上げ、一杯のコーヒーが街に人を呼び、新しい風景を生み出していく瞬間に立ち会いました。そして翌年 2016 年、蔵前という『ものづくりのまち』にダンデライオン・チョコレート日本 1 号店を開いてからの 10 年間、ファクトリーから漂うカカオの香りとともに、人とクリエイティビティが街に集まり、街の空気が少しずつ変わっていく——その手応えを、日々感じてきました。

このたび、東京メトロさんという心強いパートナーとともに、新しい駅から始まるまちの物語に加われることに、大きなワクワクを感じています。清澄白河、蔵前、そして千石。クラフトの文化がこのエリアに深く根付き、千石が『わざわざ訪れたくなる街』になるよう、一杯のホットチョコレートから、私たちらしいやり方で丁寧に街と関わってまいります。」